本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO
アナログシリーズ(M)
371, 381
使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この使用説明書は、大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社

ご使用上の注意（必ずお読みください）

■防水性

●裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。
20気圧（200M相当）〈表または裏に20BARまたは200Mと表示〉および30気圧（300M相当）〈表または裏に30BARまたは300Mと表示〉防水の場合。
水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビング・スキューバダイビング（アクアラング）などで使用できます。
・10気圧防水（100M相当）〈表または裏に10BARまたは100Mと表示〉の場合。
水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
・5気圧防水（50M相当）〈表または裏に5BARまたは50Mと表示〉の場合。
水仕事、水泳などでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドーサーフィンなどでのご使用はお避けください。
・BARまたはM表示のないもの。
洗顔や雨などの日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。

●裏蓋にWATER RESIST またはWATER RESISTANT と表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査をおこないますので、必ずお買上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。

■バンド
バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

■お手入れ
ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては、時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

■温　度
直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。

■ショック
通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

■磁　気
家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

■薬品類
水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

■保　管
長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

電池交換について

■最初の電池
工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　耗
電池が消耗しますと時刻の狂いが目立ったり、止まったりします。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

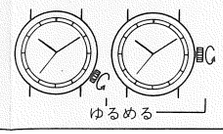
■電池交換
電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

《電池の取り扱いについて》
誤って時計から電池を取り出した場合、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

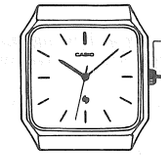
時刻・カレンダーの合わせ方

時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。
※時報は、「時報サービス電話117番」が便利です。

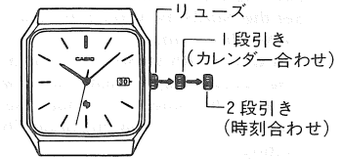
防水時計の一部（特に20気圧・10気圧防水）でリューズがネジ込み式になっているものは、時刻・カレンダーを合わせる際は左回しにしてネジ込みをゆるめた後、リューズを引いてください。（無理に引っ張らないでください。）
なお、リューズをゆるめた状態では防水機能を保てませんので、合わせ終わったら、必ずネジ込みをしてください。



●カレンダーの付いていないものは
〔時刻の合わせ方〕
(1)リューズを引きます。
(2)リューズを回して、時刻を合わせます。
(3)リューズを押し込みます。
※小秒針付のものは秒針が動く場合がありますが、電子回路は0秒位置を記憶しています。

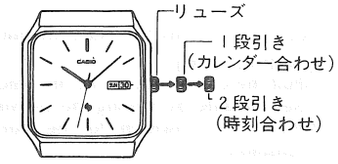


●日付の付いているものは
〔日付の合わせ方〕
(1)リューズを1段引きます。
(2)リューズを回して、日付を合わせます。
(3)リューズを押し込みます。
※日付は31日制になっていますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には必ず修正してください。
※午後8時～午前1時までは、カレンダーを合わせないでください。（この時間帯に合わせようとしても日付がかわらないことがあります。）

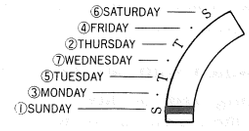


〔時刻の合わせ方〕
(1)リューズを2段引きます。
(2)リューズを回して、時刻を合わせます。
(3)リューズを押し込みます。

●日付・曜日の付いているものは
〔日付・曜日の合わせ方〕
(1)リューズを1段引きます。
(2)リューズを回して、日付・曜日を合わせます。
※日付と反対に回すと曜日が合わせられます。
(3)リューズを押し込みます。

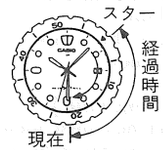


曜日を針で示す方式のものは
曜日を合わせる際、針がS(SUNDAY)→T(THURSDAY)→・(MONDAY)…と動きますので、合わせたい曜日を選んでください。
※午前0時を過ぎて曜日が切り替わるときは、一度針が動いてからもう一度次の曜日に切り替わります。



※日付は31日制になっていますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には必ず修正してください。
※午後8時～午前1時までは、カレンダーを合わせないでください。（この時間帯に合わせようとしても、日付がかわらないことがあります。）
※曜日が日・英切替式になっているものおよび曜日が絵になっているものは、お好きな方を選んで使えます。

〔時刻の合わせ方〕
(1)リューズを2段引きます。
(2)リューズを回して、時刻を合わせます。
(3)リューズを押し込みます。



●回転ベゼルのついているものは経過時間の測定ができます。
回転ベゼルを回し、▼マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして、経過時間を知ることができます。
※内転ベゼル方式になっているものは、右上のリューズを回すとベゼルが回転します。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
表　示　方　式：針式アナログ表示
駆　動　方　式：ステップモーター方式
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC／MOS－LSI
常温携帯精度：月差±20秒以内
使　用　電　池：裏蓋の刻印 371 はNo.399またはSR－927W
裏蓋の刻印 381 はNo.377またはSR－626SW
※電池は別途販売で、カシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電　池　寿　命：約3年

RE09340004A